

作成日：西暦 2026年2月4日

「産褥期の母親が母乳育児を継続する信念の尺度開発と信頼性・妥当性
および関連要因の検討」に参加された方へ

産業医科大学では、以下の研究を実施しております。この研究は、これから実施する調査で得られる情報に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日制定 令和3年6月30日施行）」により、対象となる皆様のお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。本研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

産褥期の母親が母乳育児を継続する信念の尺度開発と信頼性・妥当性
および関連要因の検討

2. 研究期間

研究機関の長の許可日～2027年3月31日

3. 研究機関

産業医科大学 産業保健学部 看護学科

4. 研究責任者

産業医科大学 産業保健学部 看護学科 教授 森本 眞寿代

5. 研究の目的と意義

本研究の目的は、産褥期の母親が母乳育児を継続する信念の尺度作成と妥当性・信頼性を明らかにすることである。

産褥期の母乳育児が軌道に乗らない困難な状況でも継続できた内容を明らかにすることで、母乳育児の継続支援の根拠や方向性を考える際の資料となる。母乳育児を継続したい母親の支援の強化・改善、さらに母親の精神状態の安定に寄与できる可能性があることに本研究の意義がある。

6. 研究の方法

本研究は、2024年4月11日から2025年3月31日までの期間に、宮崎県立看護大学において実施されたアンケート調査で得られた既存のデータを用いて行います。

本研究では、これらの既存データに対して統計的分析を行い、母子保健に関する基礎的資料を得ることを目的としています。

なお、本研究において新たな調査や介入は行いません。

7. 個人情報の取り扱い

アンケートは無記名で実施されており、個人を特定できる情報は含まれていません。また、得られたデータは分析する前に新しく符号をつけ、研究責任者が管理し、個人情報の漏洩を防止します。この研究で得られたデータは、院内の規定に従い、原則として、当該論文等の発表後 10 年間保存された後、全て廃棄します。その際には研究責任者の管理の下、匿名化（個人識別不可能）したことを確認し、紙媒体のものはマスキングを施した上でシュレッダー処分し、電子媒体のものは復元不可能となるよう初期化を行い、個人情報が外部に漏れないように対処します。また同意が撤回された場合には、その時点までに得られたデータや試料を同様の措置で廃棄します。

8. 得られた情報の利用目的の範囲

- ・ 学術発表など研究目的：あり
- ・ 第三者提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・ 海外への提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・ 公的データベース等への登録：なし

9. 問い合わせ先

産業医科大学 産業保健学部 看護学科

教授 森本 眞寿代（093-603-1611：内線 8368）

10. その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また経済的負担や謝礼もありません。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。